

平成23年度の決算概要をお知らせします

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、本市にも甚大な被害をもたらしました。平成23年度は、震災により被災した市民の皆さんが一日も早く笑顔と活力を取り戻せるよう、「塩竈市震災復興計画」を策定し、着実にスピード感を持って復旧・復興事業を進めました。また、本年度スタートした「第5次塩竈市長期総合計画」に掲げる事業を着実に実施し、震災復興計画と合わせてまちづくりの両輪として進めながら、震災を乗り越え、「おいしさ」と笑顔がつどう「みなとまち 塩竈」の実現と本市の再生に向けた市政運営に取り組んでいきます。



災害廃棄物処理事業



宮町一号線整備事業



災害復旧事業(塩竈二小)



災害復旧整備事業(寒風沢漁港)

一般会計

歳入

震災対応として

地方交付税などが増加

歳入決算額は、411億7,400万円の前年度より196億1,600万円の大幅な増となりました。

主な内容は、国庫支出金が災害復旧事業や災害廃棄物処理事業(ガレキ撤去など)の実施により132億7,500万円となり、歳入の半分近くを占めています。また、地方交付税は災害復旧事業などの地方負担分に対し交付される震災復興特別交付税が創設されたことなどにより92億3,600万円となりました。

市税は49億円で前年度から9億6,600万円の減となりましたが、これは、震災による減収のほか、被災者支援策として減免措置を行ったことによるものです。

そのほか、全国からのご厚志による支援金・義援金が40億7,400万円も寄せられました。

平成23年度は、地方交付税や国庫支出金などの国や県から交付される財源(依存財源)で、市税などの自主的に調達できる財源(自主財源)を補うことができました。

今後も、財源の確保に努めながら、安定した財政運営を進めていきます。

塩子と釜男も気になる

「震災関連の決算」

23年度には、東日本大震災の復旧事業など災害関連の事業にどれくらいのお金が使われたのかしら？

歳出決算の約半分にあたる200億円以上も使われたみたい。道路や市営住宅、学校の復旧から、ガレキの撤去、さらには、被災した皆さんへの義援金の支給や仮設住宅の建設などたくさん予算が使われたんだ。

確かに、塩竈市は早く、まちからガレキが撤去されたし、魚市場もいち早く再開、マリナーズ塩釜も仮オープンするなど復旧が早いという感じがしたわ。けど、この多額のお金はどこから出たものなの？

今回の復旧・復興予算は、国からの交付税や補助金で賄われたものがほとんど。また、全国の皆さんからいただいた皆さんの寄付金もこれらの事業に使われたんだよ。

23年度は国からのお金で助けられたのね。国の復興予算も限りがあると聞くし、早く、産業の復興やまちの賑わいを取り戻すことが必要だね。